

令和4年度第1回半田市児童館運営委員会議事録

開催日時	令和4年4月26日(火)	10時から11時30分まで
開催場所	半田市役所 庁議室	
委嘱状伝達	1. 委嘱状伝達	
会議次第	2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和3年度児童館利用状況について [資料1] (2) 令和4年度児童館年間行事予定について [資料2] (3) その他	
出席委員 (欠席委員)	【出席委員】 和田 さとみ、加藤 智子、石川 正喜、山本 宏巳、村田 いずみ (副委員長)、間瀬 さとみ、徳山 香代、中井 朋子、百田 昌弘、荘司 京子、加藤 金吉、杉江 正憲、渥美 隆 (委員長)、近藤 孝子 【欠席委員】 なし	
委嘱者	半田市長 久世 孝宏	
事務局	子ども未来部長 伊藤 奈美 子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 副主幹 榊原 秀夫 子ども育成課 主事 服部 晃良 子ども育成課 事務員 石原 未唯	
児童センター 館長	成岩児童センター館長 倉本 裕士 亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 半田児童センター館長 近藤 正勝 乙川児童センター館長 間瀬 直人 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 青山児童センター館長 眞鍋 昭二 有 脇 児 童 館 長 神戸 伸公	
次第	議 事 概 要	
委嘱状伝達	半田市長により、出席委員全員に委嘱状の授与。	
	○市長あいさつ ○委員自己紹介 ○子ども未来部長あいさつ ○事務局、各館館長の自己紹介	
委員長および副委員長 の任命	半田市児童館管理規則第8条の規定に基づき、委員の互選により、委員長に渥美 隆委員(有脇)が推薦され、出席委員全員の賛成により承認、また、副委員長には、村田 いづみ委員(半田)が推薦され、出席委員全員の賛成により承認される。 (以降、渥美委員長のもと議事を進行する。)	
	○委員長、副委員長あいさつ	
議題(1)	(事務局)	

<p>令和3年度児童館 利用状況について [資料1]</p>	<p>項番1、「令和3年度児童館利用状況」について説明いたします。お手元の資料1をご覧ください。令和3年度、令和2年度の利用者数を2段に分けて記載しております。表の下の合計欄には、平成30年度以降の各年度の合計数を記載しています。利用者数については、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症対策の動向を受け、利用者数は減少しております。令和3年度では、平成30年度の約半分の8万3708人でした。</p> <p>令和3年度においても、11月から12月以外は、5月、6月、また、7月のオリンピックの後、緊急事態宣言が発出されていまして。</p> <p>また、年が明けてからオミクロン株感染拡大への対応で、3月末まで蔓延防止等重点措置が発出されていまして。</p> <p>令和4年度においても、引き続き感染症対策をしながら、親子が安心して利用できるよう、各館の職員が努力して施設の運営をしています。</p> <p>(委員長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(委員)</p> <p>この利用状況を見ると、各児童センターで乳幼児、小学生の利用者バランスに違いがありますが、各児童センターで利用区分に関して方針などがあるのかお尋ねします。</p> <p>(成岩児童センター館長)</p> <p>施設の利用に関して特に方針を決めているということはありません。利用者数に関しては、令和2、3年度は少なくなっていますが、令和4年度からは小学生の利用者が少しずつ戻ってきており増加しています。</p> <p>(亀崎児童センター館長)</p> <p>少しずつ利用者数は減少していますが、利用者バランスについてはあまり変化はない状況です。今後は、コロナ禍に合う形で魅力のある催し、行事を展開していかにより利用者数を取り戻していくのが課題であると考えています。</p> <p>(半田児童センター館長)</p> <p>資料1の表を見ると、半田児童センターのみが令和2年度から3年度にかけて利用者数が減少しています。要因は、半田地区管内において早期にコロナ感染が発生したため、親御さん方が敬遠子どもを連れてこなかったことにあるのではないかと考えています。</p> <p>各児童センターの行事内容によって来客数の違いはありますが、館長会議や児童厚生員会議で常に情報交換をしていますので、本館も他館と同様、方針に大きな違いはないと考えて</p>
--	---

います。

(乙川児童センター館長)

乳幼児に関しては緊急事態宣言等が発令された際に、おやこっこ、ひよこっこなど親子で参加する行事を中止しているため減少しています。

また、行事の中で運動を伴う活動を減らし、食べ物を提供する事業は一切行っていないため、人数の増減があります。

ただ、少しコロナが落ち着いてきていることもあり、小学生の自由来館ということではかなり増加しています。

乙川小学校や乙川幼稚園、乙川保育園でコロナ感染者情報があると活動が大幅に縮小してしまっていますが、それがない時期にはかなりの人数が増えてきているので喜ばしく思っています。

(板山ふれあいセンター館長)

板山ふれあいセンターは地域子育て支援拠点事業という事業を行っているため、公営館に比べると少し乳幼児の利用者数が多くなっています。

また、内容の精査やセンター便りを見やすいレイアウトに変えるなど、小学生の児童センター事業を少し強化し、小学生の利用率は約 29%上がっています。行事をどのように開催すべきか日々考えているところですが、魅力ある行事を展開していきたいと思っています。

(青山児童センター館長)

青山児童センターでは、午前は地域子育て支援拠点事業、午後からは放課後の小学生を対象とすることによって、利用者バランスを取っています。

利用者数が極端に減少しなかった要因は、コロナ禍においてもイベントをただ中止するのではなく、参加人数を減らす、二部制にするなどの工夫をしながら開催してきたためだと考えています。

(有脇児童館長)

令和2年度と比較すると、3年度は利用者数が増加しています。

有脇児童館は公民館と併設しているため、公民館を利用される方が遊戯室や図書室等を利用されるのでその他の割合が高くなっています。

令和3年度に関しては、小学生の自由来館が増えました。また、有脇児童館は他館に比べて中学生の利用者数が多くなっています。その理由としては、遊戯室にあるバスケットコートが中学生が使用するためだと考えています。

(委員)

乳幼児を対象とした活動も大変重要だと思いますが、児童館という名のごとく、児童の人達、

	<p>小学生にも多く来ていただけるような施策をお願いしたいと思います。</p>
<p>議題（２）令和４年度児童館年間行事予定について〔資料２〕</p>	<p>～資料２に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～</p> <p>（委員長）</p> <p>各館の館長さん方、わかりやすく簡潔なご説明ありがとうございました。この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>（委員）</p> <p>亀崎児童センターの避難訓練について、台風、地震、火災の３項目ありますが、館長を中心に児童センターの職員が行うのか、消防などにご協力いただくのかお尋ねします。</p> <p>（亀崎児童センター館長）</p> <p>基本的には、児童センターの職員で行います。今後は、場合によっては消防署の方にお話ししてもらおうこと、また、地元の消防団にご参加いただくこともあるかと思えます。</p> <p>（委員）</p> <p>過去に大阪で、地震によるブロック塀の倒壊で子どもが亡くなった事案がありました。児童センターには小学生の子どもたちがたくさん来るため、特に、外でのブロック塀の倒壊などへの対策で、子どもたちに自分で意識を持たせるようにしていただきたいと思えます。</p> <p>（委員長）</p> <p>亀崎児童センターの３月３１日模擬商店街ごっこについて、もう少し詳しくお聞かせください。</p> <p>（亀崎児童センター館長）</p> <p>かめじ商店街という形で、お菓子屋、お花屋、お寿司屋、雑貨家、おもちゃ屋、的あて屋、輪投げ屋、ボール掬いの８つの店を開き、お店の看板や商品の一部、値札などを子どもたちに作ってもらいました。お寿司やお菓子などはもちろん本物ではなく、フェルトや紙などで作りました。かめじ商店街でのみ使える通貨で、それらを子どもたちが買うという形で二部制で行い、大変人気でした。子どもたちはあまり自分で物を買うということがないため、お金の使い方を覚えてもらえたらということで行った事業であります。飲食は一切行っていません。</p>
<p>議題（３） その他</p>	<p>（事務局）</p> <p>事務局から３点ご案内させていただきます。</p> <p>１点目、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、半田市へのふるさと納税としていただきました寄附金を活用して、先月、児童センター全館に抗菌処理を施しました。また、空気清浄機等の衛生用品も購入しましたので、ご報告いたします。お手元の資料３をご覧ください。抗菌処理につきましては、新型コロナウイルスに非常に高い効果を発揮する光触媒のコーティ</p>

ング剤を使用しています。衛生用品につきましては、非接触式の温度検知器であります「サーモマネージャー」、児童館の遊戯室に設置する大型の「除菌・脱臭機」、図書室や工作室に設置する「空気清浄機」、空気を循環させるための「サーキュレーター」などを購入しています。

2点目、各児童センターの新しい遊具の設置についてです。昨年度、半田ライオンズクラブ様から地域の子どもたちのために、青山児童センター及び板山ふれあいセンターへ大型遊具をご寄附いただきました。それに伴いまして、11月には児童センターを利用する子どもたちに向け、遊具のお披露目式を行いました。今年度は、残りの公営児童館5館におきましても、ふるさと納税の寄附金を活用して、資料にございます遊具を設置する予定です。

3点目、この4月に行われた半田市の機構改革についてです。資料5をご覧ください。この4月から新たに体制を一新しています。子ども未来部を新設して、子ども育成課、子育て相談課を新設し、幼児保育課とあわせ、3課で子育て支援を推進してまいります。

(委員長)

ありがとうございました。

この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。

ないようですので、その他ということで各委員の皆様から児童館、児童センターに関して、ご意見等をお伺いしたいと思います。

～運営委員の皆様一言ずつご発言をいただく～

(委員)

各児童センターの行事予定を拝見し、とても楽しそうな企画があるのを知り、これから新任で運営に関わっていけることが楽しみです。また、自分のアイデアなども活かしていきたいです。まだ分からないことが多いので、皆様に教えていただきながら関わってきたいと思っています。

(委員)

私は子どもが3人いますが、児童センターはあまり利用していませんでした。本日の資料を拝見し、年間行事で色々なことが行われているということを知り、驚きとワクワクと様々な気持ちが混ざっています。まだ分からないことが多いため何ができるか分かりませんが、できる範囲でお手伝いしていきたいと思っています。

(委員)

今年度から市の体制が変わったということですので、館長方と一緒に新しいやり方で子どもたちの喜ぶようなことをできたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

(委員)

昨年度 11月の「かめリンピック」という亀崎児童センターの行事の際、かめじサポーターボランティアの会の中で学生サポーターが半分以上ということに驚きました。石川委員が若者を取り込むことが大切だということを考えていらっしやっており、児童センターの取り組みにしても亀崎の町おこしにしても、積極的に若い人たちが協力して、斬新なことをやっていることに感銘を受けました。また、放課後の時間や土曜日でも学生サポーターの方が児童センターに来て子どもと触れ合っているのが、イベントの当日も顔と名前が分かっていることが、安心して事業を行う上で非常に強みだと感じました。

(委員)

自分の子どもが成長してしまい、館のお便りはこちらからお伺いした時にいただくのですが、行事予定に間に合わないことがあります。せっかく良い行事をしてもお手伝いできなかったことありましたので、今年からはできる限り参加したいと思っています。

(委員)

資料を拝見して、児童館ごとで色々な行事が行われていることに感動しました。今後は子どもが児童館でやりたいことや、進んで行きたくなるようなイベントのアイデアを少しでも出せるように努力していきたいと思います。

(副委員長)

雁宿地区の子どもたちは、家との距離が遠いため半田児童センターに毎日行くことは難しい状態です。特別な行事の際は雁宿小学校の子どもたちを見かけますが、やはり人数は少ないです。半田小学校だけでなく、他の小学校の子どもたちにも来ていただけるようにしたいと思います。

(委員)

コロナ禍で、児童センターの職員の方々がせっかく用意してくださった行事ができなくなるということが約2年続いています。しかし、その中でも一生懸命に運営していただき、また翌月の行事予定を必ず当月半ばにお知らせいただいていることに感謝申し上げます。

少しお伺いしたいのですが、半田児童センターのウィンターハッピーデーという行事は、どういことをされているのでしょうか。

(半田児童センター館長)

例年は、おこしもの作りやゲームなどを行っています。今年は愛町マーチングバンドをお願いをして、マーチングバンドをやっていただこうと考えています。

(委員)

資料4の遊具については、各館にいつ設置する予定ですか。

(事務局)

現時点で具体的な日程は決まっていますが、できるだけ早く子どもたちに使っていただけるよう準備を進めてまいります。

(委員)

板山は、板山長寿会や板山竹炭会などたくさん年配の方たちとのつながりが強く、子どもたちにとっても良い地域だと思っています。一方で、子どもたちの親世代については、そのつながりをそのまま引き継いでいけるのか少し不安があります。児童館をその地域のセーフティーネットにしつつ、親世代にもつなげていききっかけにしていきたいと思います。

また、伝統芸能である板山獅子や板山万歳が後継者不足などで廃れていかないように、子どもたちに伝統芸能に触れてもらう機会を増やしていきたいと思っています。

(委員)

各館の行事をお聞きしまして、本当にご苦労のある中、子どもたちのことを第一に考え行事を運営していただいていることに本当に感謝し、またうれしく思います。少しでも力になれるように頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

(委員)

青山児童センターでは館長の意向もあり、スポーツが多くなっています。やはり子どもたちには、身体を動かすこともそうですが、スポーツとなると身体も頭も使うことになります。そうしたことは、大いにやってもらいたいと思います。

(委員)

各児童センターの年間行事予定をお聞きして、大変面白い行事を行っていると思いました。私は青山児童センターの館長からのお声かけもあり、特別な行事に関しては出席させていただいています。他の委員の皆様も、ぜひご自分で参加されるとよろしいかと思ます。

(委員長)

昨年は、児童館のハロウィンフェスティバルやスライムづくり教室という事業に参加させていただきました。子どもと一緒に遊んで触れ合い、子どもたちの笑顔を見ると私たちも元気をもらうことができます。子どもたちの活動の場を見ていただいて、子どもたちの笑顔を見ていただくというのはとても大切なことだと思いますので、皆様にもぜひ行事にご参加いただきたいと思います。子どもたちと遊びで触れ合える楽しみをいただいて、ありがたく思っています。

	<p>(委員)</p> <p>各児童センターの手厚く工夫された、きめ細かい行事の数々をお聞きしてとても感動しています。私たちも工夫してお手伝いをしたいと思っています。</p> <p>また、遊具の充実について、有脇児童館には中学生がよく来館するため、中だけでなく外にも遊具を設置していただきたいと思います。</p> <p>もう一点、有脇児童館の近くにふれあい公園ができました。児童館に来る子どもたちも公園に行くと思いますので、交通ルール、交通安全に気をつけなければと思っています。また、竹林を開発したため、マムシなどの存在が心配ではありますが、公園の新しい楽しみ方を、皆様のお知恵を拝借して考えていきたいと思っていますので、よろしく願います。</p> <p>(委員長)</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>以上で議事を終了いたします。</p> <p>事務局へお返ししますので、よろしく願います。</p>
<p>閉会</p>	<p>(事務局)</p> <p>長時間にわたり、御審議ありがとうございました。</p> <p>これもちまして、第1回児童館運営委員会を閉会いたします。</p> <p>皆様にお集まりいただく会議は、年2回の開催を予定しています。2回目につきましては、年度の後半を予定していますので、日程が決まり次第、御案内させていただきます。</p> <p>なお、本日の会議のご出席に対する謝金についてですが、市の規定に基づきまして謝金をお支払いいたします。新しく委員になられた方につきましては、振り込み先登録用紙をお帰りの際に職員へお渡しくださいますようお願いいたします。また、再任の方でも振り込み先に変更がある場合には、お申出いただきますようお願いいたします。</p> <p>運営委員の皆様には、各館の運営に関していつでも忌憚のない御意見をいただきたいと考えています。よりよい児童館の在り方を皆様とともに考えていきたいと思っていますので、これからもよろしく願います。</p>
<p>(終了)</p>	